

靴式下肢加重計 ウォーキングアラーム MP-10

【警告】

適用対象（患者）

歩行中にバランスを保つのが困難な患者や、めまいの既往歴のある患者には慎重に使用してください。

使用方法

患者の転倒に注意し、安全を確保して使用してください。

【禁忌・禁止】

適用対象（患者）

- 乳幼児又は新生児には使用しないでください。
- 歩行が著しく困難な方には使用しないでください。
- 皮革製品の材質に過敏症のある方には使用しないでください。

併用医療機器

下記の医用電子機器との併用はしないでください。

- 一般的電気手術器
- マイクロ波治療器
- MRI 装置
- 高圧酸素治療装置

使用方法

本装置は防爆型ではないため、装置の近くで可燃性および爆発性の気体を使用しないでください。

＜構成＞

- ・本体（操作デバイス）（荷重センサーと連結）
- ・メモリーモジュール
- ・専用靴（大サイズ、小サイズ）
- ・ソフトウェア（DVD）

＜装着部組成＞

- ・ABS 樹脂
- ・人工皮革
- ・アルミニウム
- ・軽量合成ゴム

＜動作保証条件＞

次の条件を満たしている環境下で使用してください。

周囲温度：10℃～40℃

相対湿度：30%～75%（結露、氷結なきこと）

気圧：700 hPa～1060 hPa

＜バッテリー駆動時間＞

連続駆動で 5 時間以上

＜動作原理＞

荷重センサーからの荷重情報を電氣的に獲得し本体にて荷重値へ変換し、リアルタイムに荷重値を表示します。また、荷重値データをメモリーモジュールに移行し外部のコンピュータにデータを出力します。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

歩行パターンを試験する装置であり、地面の反力を測定し、足首関節の動きを判定し、力を測定するプラットフォームを利用します。歩行に関連した問題の診断及び矯正措置計画の支援に用いることを目的とします。

【使用方法等】

＜使用方法＞

- ① 機器の準備
(ア) 本体（操作デバイス）の電源を入れます。
(イ) 訓練または計測モードを選択します。
- ② 訓練
(ア) 「合成 1 設定」、「合成 2 設定」、「前後 2 設定」から選択して「決定」ボタンを押します。
(イ) 「設定」ボタンを押して目標荷重値を設定します。
(ウ) 専用靴を装着し、「校正」ボタンを押して荷重のオフセットをおこないます。
(エ) 訓練が終了したら電源を切ります。
- ③ 計測（記録）
(ア) 「表示・音無」モードを選択して「決定」ボタンを押します。
(イ) 専用靴を装着し、「校正」ボタンを押して荷重のオフセットをおこないます。
(ウ) 「設定」ボタンを押して計測を開始します。「設定」ボタンを押すと記録を開始します。
(エ) 計測が終了したら「設定」ボタンを押す。「設定」ボタンを押すと記録を終了します。

【形状・構造及び原理等】

＜品目の概要＞

前足部および後足部の負荷訓練時の荷重をフィードバック音で認識することで、より効果的に下肢の運動訓練が実践できます。負荷訓練時は任意に荷重値を設定でき、その設定値に基づいて複数種類のフィードバック音が鳴る機構を持っています。このフィードバック音をもとに適正荷重を認知させることができます。また、訓練結果を保存できる素子を持ち、外部のコンピュータ機器に接続して訓練結果を出力できます。



取扱説明書を必ずご参照ください。

- (オ) 計測が完了したら電源を切ります。
- ④ 解析
- (ア) 計測後、メモリーモジュールに接続しているプラグを取り外します。
- (イ) メモリーモジュールを外部コンピュータに USB 接続して専用アプリケーションを実行します。
- (ウ) 専用アプリケーションに氏名・ID・体重等を入力し結果レポートを出力します。
- (エ) 操作が終了したら、プログラムを終了します。

装置の詳細な取り扱い方法は、装置付属の取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

使用注意（次の患者には慎重に適用してください）

- 1). 足部の皮膚疾患や整形外科的な疾患がある患者
- 2). 歩行補助具を使用している若しくは必要とする患者

重要な基本的注意

- 1). 電気メス、マイクロ波発生装置等、電磁波障害を発生させるおそれのある装置と同一環境では使用しないでください。また電磁波障害を発生させる装置の影響があると思われる際は使用を中止してください。誤作動の原因になることがあります。
- 2). 本体に接続している荷重センサーに 100 kgf を超えた荷重を負荷させないでください。荷重センサーの故障の原因となります。
- 3). 本体と荷重センサーを接続するケーブルを引っ張らないでください。断線による故障の原因となります。
- 4). 使用中に発疹、発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には使用を中止してください。本製品は、皮膚に対して有害な物質を使用していませんが、万が一そのような症状があらわれた場合は医師に相談してください。

＜相互作用（他の医療機器等との併用に関すること）＞

- 1). 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
一般的電気手術器	同時に使用しないでください。	高周波の相互干渉による誤作動のおそれがあります。
マイクロ波治療器	同時に使用しないでください。	高周波の相互干渉による誤作動のおそれがあります。
MRI 装置（磁気共鳴画像診断装置）	検査室に本品を持ち込まないでください。MRI 検査を行うときは、本製品を患者から取り外してください。	誘導起電力により局部的な発熱で火傷のおそれがあります。
高圧酸素治療装置	装置内に持ち込まないでください。	誤動作や破損及び経時的な劣化をきたすおそれがあります。また、爆発の誘因となるおそれがあります。

- 2). 併用注意

- ① 本製品にコンピュータ等の周辺機器を接続する場合は、必ず当社指定の方法により接続してください。指定外の接続方法をしますと、漏れ電流により操作者が電撃を受けることがあります。

＜その他の注意＞

本体に異常な荷重や負荷がかからない方法で保管してください。また、水や高湿度に曝されない環境で保管してください。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞又は＜保管の条件＞

周囲温度：-40℃～70℃

相対湿度：10～100 %（結露状態を含む）

気圧：500 hPa～1060 hPa

＜耐用期間＞

6 年 [自己認証（当社データ）による]

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合があります）

【保守・点検に係る事項】

＜清掃・消毒・滅菌の方法＞

詳細は取扱説明書を参照してください。

＜使用者による保守点検事項＞

- 1) 日常点検

点検項目	点検時期
各部に傷や汚れなどがないか。	始業時
ケーブルに損傷はないか。	
装置が水などの液体で濡れていないか。	
本体内蔵のスピーカーから正しく音が出ているか。	動作中
メモリーモジュールのランプ表示は正常か。	
装置の電源を切ったか。	終業時
周囲に薬品や水などが放置されていないか。	

点検の内容および方法の詳細は取扱説明書を参照してください。

【主要文献及び文献請求先】

＜主要文献＞

- 1) 土屋和夫 監修 臨床歩行分析懇談会 編（1990）『臨床歩行分析入門』・リハビリテーション医学 Vol. 27 (1)
- 2) 窪田俊夫・山崎伸寿（1994）・『歩行分析データ活用マニュアル 一床反力編一・人間科学全書

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：アニマ株式会社

電話番号：042-487-6111

製造業者：アニマ株式会社 本社工場

：アニマ株式会社 浜松工場

【販売業者（販売店）】

--